

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
英語 2年	1 学期	○ Unit 0 My Spring Vacation ○ Unit 1 What can we experience on a trip? ○ Unit 2 What is local food? ○ Unit 3 What kind of job are you interested in? ○ My Favorite Japanese Food	・＜過去形＞を用いた文の理解をもとに、春休みにしたことやその感想について、伝えることができる。 ・＜未来を表す be going to や will＞を使って、これからの予定や旅行の計画を伝えることができる。 ・＜when, if, that, because などの接続詞＞を理解し、時や条件、理由や考え・意見などを伝えることができる。 ・＜不定詞＞を使って、何かをする目的や感情の原因、すべきこと、大切なことなどについて、伝えたり、たずねたりできる。 ・自分の好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。
	2 学期	○ Unit 4 What is important in a homestay? ○ Unit 5 What design is good for everyone? ○ Unit 6 How can we make a good Presentation? ○ My school and School Life	・＜助動詞 must や動名詞＞の理解をもとに、しなければならないことや決まりごと、楽しんでいることなどについて伝えることができる。 ・＜how to＞を用いた文や＜that 節＞どのようにしたらよいか、うれしい気持ちなどを伝えることができる。 ・＜比較＞表現を用いた文の理解をもとに、複数のものを比べて、伝えあったり、たずねたりできる。 ・自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明できる。
	3 学期	○ Unit 7 What are World Heritage sites and their problems? ○ Let's Have a Discussion.	・＜受け身＞の文の理解をもとに、世界遺産の特徴を知り、調べたことを紹介することができる。 ・自分の立場を明確にし、意見を述べることができる。
		評価の観点・評価方法	
		① 授業に参加する姿勢（態度、発言、積極性、ノート、提出物） ② 定期テスト、小テスト、インタビューテスト ③ スピーチ、作文	

令和7年度 香芝東中学校 2年生 シラバス

生徒のようすや学習の状況などに応じて、進度や内容を変更して実施することがあります。

技 術 ・ 家 庭 2 年		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
	前期	○中学生の食生活と栄養 ○日常食の献立と食品の選び方 ○日常食の調理と地域の食生活 ○住生活	●食生活に関心をもち、自分の食習慣を見直す ●栄養素の種類とはたらきを知る ●栄養バランスのよい献立を考える ●生鮮食品の選びかたと旬を知る ●加工食品の特徴と、食品の保存方法を知る ●食品添加物について知る ●基礎的な調理操作ができる ●安全と衛生に留意できるようになる ●食品の調理上の性質について理解する ●地域の食材や食文化について関心をもつ ●住まいの役割と安全な住まい方を考える。 ●これからの持続可能な住生活について考える。 ●非常時の食事を考え、実習する。
	後期	◎情報に関する技術 ○コンピュータと情報通信ネットワーク	●コンピュータの仕組みを知る。 ●情報をコンピュータに取り込む。 ●情報通信ネットワークの仕組みを知る。 ●情報モラルを身につける。 ●情報を安全に利用する。
評価の観点・評価方法			
①授業にまじめに取り組んでいる。 ②ノート、プリントをきちんととっている。 ③提出物をきちんとやって、期限を守って提出している。 ④定期テスト ① 作品の製作に着実に取り組み、最後まで丁寧に仕上げる。			

令和7年度 香芝東中学校 2年生 シラバス

生徒のようすや学習の状況などに応じて、進度や内容を変更して実施することがあります。

	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1 学 期	◇見えないだけ ◇アイスプラネット ◇魅力的な提案をしよう ◇クマゼミ増加の原因を探る ◇枕草子 ◇熟語の構成 ◇類義語・対義語・多義語 ◇文法	●詩を朗読し、詩の描く世界を理解する。 ●表現や構成の工夫とその効果について理解する。 ●文章と図表などを結びつけて、筆者の考えを捉える。 ●古文を朗読し、古典の特徴を捉える。 ●熟語の成り立ちの仕組みを理解する。 ●意味や用法を理解する。 ●用言の内容と形の特徴を理解する。
2 学 期	◇言葉の力 ◇短歌に親しむ・短歌を味わう ◇ヒューマノイド ◇モアイは語るー地球の未来 ◇同じ訓・同じ音をもつ漢字・敬語 ◇平家物語・扇の的 ◇君は「最後の晚餐」を知っているか ◇文法	●筆者のものの見方や考え方を捉える。 ●短歌の特徴を理解し、内容を捉える。 ●構成や論理の展開とその効果について考えを持つ。 ●同音異字・同訓異字を理解する。 ●敬語の正しい使い方を身につける。 ●重箱読み・湯桶読みを理解する。 ●古文を朗読し、古典のリズムを味わう。 ●登場人物の心情を理解し自分の考えを持つ。 ●筆者の考えを、自分の体験と重ねて捉える。 ●用言の内容と形の特徴を理解する。
3 学 期	◇漢詩の風景 ◇仁和寺にある法師 ◇走れメロス ◇鍵 ◇文法	●漢詩の世界を読み味わう。 ●詩の表現に着目し、情景を読み取る。 ●作品の構成・特徴を捉え、登場人物について考えを深める。 ●登場人物の言動を捉え、内容を理解する。 ●助詞・助動詞について理解する。
評価の観点・評価方法		
①授業に意欲的に取り組み、発表している。 ②ノート・提出物 ③定期テスト ④課題テスト・小テスト ⑤スピーチ・暗唱・作文・		

	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1 学 期	◆歴史的分野 ○中世の日本 武士の政権の成立 ユーラシアの動きと武士の政治の展開 ○近世の日本 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 江戸幕府の成立と対外政策 産業の発達と幕府政治の動き ◆地理的分野 ○身近な地域の調査 ○世界と比べた日本の地域的特色	●武士の台頭から幕府が成立する過程を理解し、武士の支配による民衆の生活の変化について考える。 ●戦乱による社会制度の変化や、産業や文化の発達と特徴を理解する。 ●江戸幕府の諸政策を通して新しい安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたことを理解する。 ●世界的視野から見た日本の地域的特色を理解する。
2 学 期	◆地理的分野 ○世界と比べた日本の地域的特色 ○日本の諸地域 九州地方～東北地方	●世界的視野から見た日本の地域的特色を理解する。 ●日本の地域的特色を、自然環境、他地域との結びつき、環境保全、産業、人口や都市、生活・文化、歴史的背景などに注目しながら多面的・多角的に理解する。
3 学 期	◆地理的分野 ○日本の諸地域 北海道地方 ◆歴史的分野 ○近代の日本 欧米における近代化の進展 欧米の進出と日本の開国 明治維新	●日本の地域的特色を、自然環境、他地域との結びつき、環境保全、産業、人口や都市、生活・文化、歴史的背景などに注目しながら多面的・多角的に理解する。 ●明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解する。
評価の観点・評価方法		
①授業の関心・意欲・態度（発言、態度、積極性） ※忘れ物・私語には気を付ける ②提出物 ③定期テスト、小テストなど ④レポート ⑤グループ活動での姿勢や発言		

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
数 学 2 年	I 学 期	1章 式の計算 1 式の計算 2 文字式の利用 2章 連立方程式 1 連立方程式 2 連立方程式の利用 3章 1次関数 1 1次関数	○文字を用いた式の良さを実感し、実際に文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することを理解する。また、簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算をすることができるようにする。 ○連立方程式の必要性和意味を理解し、その解き方について考察し、表現することができるようにする。 ○1次関数の意味を理解し、1次関数の表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができるようにする。
	2 学 期	3章 1次関数 2 1次関数と方程式 3 1次関数の利用 4章 図形の性質と合同 1 平行線と角 2 三角形の合同 3 証明 5章 三角形と四角形 1 三角形	○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、変化や対応の様子を考察することができるようにする。 ○1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察することができるようにする。 ○平行線や角の性質を理解し、2直線の位置関係を考察することができるようにする。 ○三角形の合同条件について理解し、それをもとに図形の性質を確かめることができるようにする。 ○三角形の合同条件などをもとにして、二等辺三角形の性質を証明することができるようにする。
	3 学 期	5章 三角形と四角形 2 四角形 6章 データの活用 1 データの散らばり 2 データの傾向と調査 7章 確率 1 確率	○平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を理解する。 ○平行四辺形の性質を具体的な場面で活用することができるようにする。 ○箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を理解する。 ○箱ひげ図等を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、考察したり活用したりすることができるようにする。 ○確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求めることができるようにする。
評価の観点・評価方法			
①授業に対して真面目かつ積極的に臨んでいる。(発言・態度) ②ノートをきちんととっている。 ③提出物(ワーク・計算つづり等)をきちんとやって期限を守って提出している。 ④定期テスト ⑤課題テスト			

2 年 美 術		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
	1 学 期	○身近な人に環境保護を呼びかけるポスター	●伝えたい内容に基づいて考えたことをもとに主題を生み出し、効果的な表現の構想を練る。 ●形や色彩などが見る人に与える効果を理解し、見通しをもって表す。 ●自分の考えや見方を深めながら、デザインの構想を練ったり、作品を鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。
	2 学 期	自分の感情を表す立体制作	●作品のよさを形や色彩、全体のイメージなどから捉え、意図に応じて工夫して表す。 ●自分の感情や思いなどをもとに主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練る。 ●自分の見方や感じ方を深めながら、感情や思いなどを表したり、作品を鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。
	3 学 期	生活空間を光で彩る灯りのデザイン	●形や色彩、材料、光が見る人や使う人に与える効果を理解し、見通しをもって工夫して表す。 ●設置する場所や使う目的、生活との関わりから主題を生み出し、効果的な表現の構想を練る。 ●自分の考えや見方を深めながら、デザインの構想を練ったり、作品を鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。
	評価の観点・評価方法		
	① 授業への関心、意欲、主体的に学習に取り組む態度 ② 作品の完成と提出 ③ 期末テスト ④ 作品の発想、構想 ⑤ 作品制作の技能		

令和7年度 香芝東中学校 2年生 シラバス

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
保健体育 2年	1学期	○集団行動・体づくり運動 基本姿勢・整列・方向転換 開列・列の増減・補強運動 男子 バレーボール 女子 陸上 ハードル走 男女共通 水泳 保健3章 傷害の防止	●集団行動の基本的な動作を身につける。 ●学校や社会のきまりを守り互いに協力し合う態度を養う。 ●目標に対して正確にボールを送る技術を身につける。 ●それぞれの場面に応じて、パスの球質を使い分ける技術を身につける。 ●仲間と協力し、積極的に取り組む態度を身に付ける。 ●記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。 ●基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。 ●基本的な泳法を身につけ、陸上の運動では養えない体力、運動能力を養う。 ●関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫する。 ●自然災害によりどのような危険が迫ってくるかを理解し、それによっておこる傷害を防ぐためにできることを学ぶ。また、日常生活の中で起こる傷害に対する応急手当の意義と方法を理解し、実際に起こった時に対応できる力を養う。
	2学期	○体育大会練習 集合・整列・行進・ラジオ体操 男子陸上競技(混成3種目) 女子 バレーボール 男女共通 ソフトボール ○保健4章 健康な生活と病気の予防	●集合隊形、体操隊形への移動、行進を周りの動きとそろえられるようにする。また、ラジオ体操第二では、運動の順番を覚え正確な体操を行う。 ●短距離走、ハードル走、の基本的動作を身に付け、安全に競技を行う。 ●基本的技術を身につけ、ゲームの中で実際に使うことができる。 ●仲間と協力し、ポイントをとる喜びを味わう。 ●投げる、捕る、打つなどの基本技術を身に付け、安全に留意して楽しむ態度を養う。 ●健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解する。 ●健康の保持増進には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを学ぶ。 ●健康の保持増進をするために、正しい判断、行動ができるようにする。
	3学期	○長距離走 男子 バasketボール 女子 サッカー	●体力向上とともに、距離に応じた自分のペースを見つけ、目標タイムを目指して走りきる態度を養う。 ●パス、ドリブル、シュートなどの基本的な技術の習得を行い、簡単なゲームで使うことができる。 ●仲間と協力しながら練習やゲームに取り組む態度を養う。 ●パス、ドリブル、シュートなどの基本的な技術の習得を行い、簡単なゲームで使うことができる。 ●仲間と協力しながら練習やゲームに取り組む態度を養う。
	評価の観点・評価方法		
①授業に真面目に取り組んでいるか。(態度・発言)見学者は、授業中見学レポートを書く。 ②みんなで協力している。 ③ノートをきちんととれているか。 ④提出物(ワーク・プリント)をきちんと記入し、期限を守り提出しているか。 ⑤技能テスト ⑥定期テスト			

理 科 2 年	学習内容		学習のねらい・身につけてほしい力
	1 学 期	○物質の成り立ち ○物質の表し方 ○さまざまな化学変化 ○化学変化と物質の質量 ○生物の体をつくるもの ○植物の体のつくりとはたらき	●物質は原子や分子からできていることを理解する。 ●原子の記号による物質の表し方を知り、化学反応を化学反応式で表せるようになる。 ●酸化や還元を理解し、それが日常生活の中で利用されていることを知る。 ●化学反応の前後で反応全体の物質の質量が変化しないことに気づき、また反応前後での物質の質量の関わりに規則性があること理解する。 ●細胞のつくりや細胞呼吸について理解する。 ●植物の根・茎・葉のつくりと、光合成・呼吸・蒸散のはたらきを関連づけて理解する。
	2 学 期	○動物の体のつくりとはたらき ○動物の行動のしくみ ○地球をとり巻く大気の様子 ○大気中の水の変化 ○天気の変化と大気の動き	●消化器官、呼吸器官、循環器官などのはたらきを知り、生命を維持するしくみを理解する。 ●外界からの刺激に反応するしくみを、感覚器官・神経・運動器官のつくりと関連づけて理解する。 ●地表には大気圧がはたらいていることを理解し、気象要素の変化と天気の変化の関わりを見いだす。 ●霧や雲のでき方を空気中の水の変化と関連づけて理解する。 ●大気の動きを立体的にとらえる。日本付近での高気圧や低気圧の移動とそれに伴う天気変化を地球規模の大気の動きの一部としてとらえる。
	3 学 期	○大気の動きと日本の四季 ○電流の性質 ○電流の正体 ○電流と磁界	●日本付近の気団と関連づけながら、日本の四季の特徴と生じるしくみを理解する。 ●実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得する。 ●回路の性質や、電流と電圧の関わりについての規則性を見出す。 ●静電気の性質を調べ、静電気と電流には関係があることを見いだす。 ●電子の移動により、様々な現象がおこることを理解する。 ●電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解する。
	評価の観点・評価方法		
	①授業にまじめに取り組んでいる。(発言、態度、積極性、忘れ物など) ②ノートをきちんととっている。 ③提出物をきちんとやり、期限を守って提出している。 ④定期テスト ⑤課題テスト・小テストなど ⑥実験レポート		